

2-7 (b)グループインタビュー ～北斗市開催

■調査概要② 北斗市開催

調査時期	平成28年10月14日(金) 10:00～12:00
会 場	北斗市役所 会議室
調査対象	北斗市に移住した男女
被検者数	6名(男性3名・女性3名)
備 考	被検者のうち男性1名は前夜に個別ヒアリングとして実施。 また、女性1名はグループインタビュー開始前に一部、 個別ヒアリングを行ったため、通常のグループインタビューと 異なることに留意。

No.	性・年齢 M=男 F=女	職業	子ども (長子)	出身地		前住地
				夫	妻	
1	F44	有職	3人 (14歳)	神奈川県	札幌市	神奈川県 川崎市
2	F40	パート	1人 (10歳)	福井県	福島県	埼玉県 所沢市
3	F31	専業主婦	2人 (8歳)	北斗市	東京都	東京都
4	M73	自営	-	俱知安町	神奈川県	神奈川県 横浜市
5	M41	勤め	2人 (9歳)	神奈川県	道外	埼玉県
6	M39	農業	1人 (2歳)	東京都	北斗市	東京都

2-7 (b)グループインタビュー ～北斗市開催

1)移住についての考え方

～地縁性**が**強い移住パターン。移住理由のキーワードは“子育て”～

- 被検者全員が「完全移住」であるが、半数はUターン型で、もう1名は、定年後にJターンとなる。
- 純粹に、北斗市への移住となるのは2名で、いずれも転勤で函館居住経験ありで、全体に元々“地縁性”があった。
- 移住パターンは別にして、1名のリタイア層を除けば、いずれも移住動機は「子育て」に関連したものとなっており、『自然の中で伸び伸びと』がキーワードになっている。
- 移住ライフのクラスターとしては、「自分らしさ&子育て型」が軸になり、その上で各々の仕事によって「地域融合 & 仕事型」などに近い。

2-7 (b)グループインタビュー ～北斗市開催

1)移住についての考え方

～地縁性が強い移住パターン。移住理由のキーワードは“子育て”～

No.	性・年齢 M=男 F=女	職業	子ども (長子)	出身地		前住地	移住時期	移住動機・理由
				夫	妻			
1	F44	有職	3人 (14歳)	神奈川県	札幌市	神奈川県 川崎市	2006	<p>【完全移住】 <u>子育て重視・親が先に移住</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 都会での育児に行き詰っていた。広いところで伸び伸び子育てをしたかった。 <u>両親が先に札幌市から北斗市に移住していた。(結婚前に本人も居住経験あり)</u>
2	F40	パート	1人 (10歳)	福井県	福島県	埼玉県 所沢市	2014	<p>【完全移住】 <u>子育て・住宅取得タイミング</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが小学生になり一戸建て住宅を取得しようと思った。 転職が続くと子供が可哀相。低学年のうちに「定住」したい。 子どもを「野生児」として自然の中で育てる。 以前、転職で函館市に居住しており、その時に好印象を持っていたので、移住も良いと判断。 ご主人は両親ともに他界しているため、郷里にこだわる必要がなかった。 本人が帰郷する時に新幹線が使える。
3	F31	専業主婦	2人 (8歳)	北斗市	東京都	東京都	2016	<p>【完全移住】 <u>子育て・ご主人Uターン</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 東京での生活に疲れた。自然の中で子育てがしたかった。 ご主人が北斗市出身。いっそ移住でもよいと考えた。
4	M73	自営	-	倶知安町	神奈川県	神奈川県 横浜市	2002	<p>【完全移住】 <u>リタイア・ご主人Jターン</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 倶知安町の出身。 定年を機に都会から抜け出し、きれいな空気と自然に囲まれて暮らしたくなった。 転職で函館市に在住したことがあり、この地域に多くのネットワーク、知人ができた。
5	M41	勤め	2人 (9歳)	神奈川県	道外	埼玉県	2011	<p>【完全移住】 <u>落ちついた居住・転職在住あり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 転職が多い。 北斗市に勤務先があり、在住経験がある。 転職可能地に居を構えなくなった。
6	M39	農業	1人 (2歳)	東京都	北斗市	東京都	2015	<p>【完全移住】 <u>健康にいい環境・奥さまUターン</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 都内で飲食業に勤務。 子どもが生まれ、奥さまも病気がちなので、良い環境で暮らしたくなった。 奥さまが北斗市(実家は農業)出身であるため、農業後継者になれば職の不安もない。

2-7 (b)グループインタビュー ～北斗市開催

2) 移住を考える際に重視する点

～子育てがしやすい、「大函館圏の北斗地区」的な見方～

- 前項にあるように、今回被検者の多くは地縁性が強い(Uターン等)者で、必然的に「実家がある北斗市」に移住している。従って、ここでは明らかに“北斗市を選んだ「No.2」と「No.5」に着目すると、いずれも「子育てのしやすい街」との共通認識があった。
- 特に「No.2」が函館の友人たちから言われた「(子育てする人の)家を建てるなら北斗市」は、北斗市選択の決め手となっている。
- なお、「No.5」の『函館と北斗を分けて考えていない。広い意味で函館に住んでいる』との考え方は、移住者の“ちょうどいい街”との共通意識と言える。(大函館圏の中の北斗地区的発想)

2-7 (b)グループインタビュー ～北斗市開催

2)移住を考える際に重視する点

～子育てがしやすい、「大函館圏の北斗地区」的な見方～

No.	名前	出身地 本人 配偶者	移住パターン	他の移住 検討先	北斗市を選んだ理由 当初の不安ポイント
1	F44 既婚 有職 子ども3人	札幌市 神奈川県	【完全移住】 子育て重視 親が先に移住	特になし (相模原、鎌倉、奥多摩)	<ul style="list-style-type: none"> 公務員をしていた両親が定年後に移住していた。(本人も居住経験あり) 北斗市の何も無い田舎でLOHAS生活をしたかった。(LOHAS:健康や環境問題などを重視するライフスタイル)暮らしをしたいと考えた。何のしがらみもなく、自由な行動ができる。 雪が少ない、食べものも美味しい。 <当初の不安> <ul style="list-style-type: none"> 地域内の交通インフラ(交通手段が限られる) 教育問題(特に通学)、文化レベルの違い 仕事が少ない、職種が限られる
2	F40 既婚パート 子ども1人	福島県 福井県	【完全移住】 子育て 住宅取得 タイミング	埼玉、神奈川、福島	<ul style="list-style-type: none"> 転勤で函館市に居住経験有。その当時の友人に相談した際に、口々に「家を建てるなら北斗市」との推薦があった。 その理由は<子育てしやすい(格安の学童保育、医療費無償など)>ことや<税金が安い>、<食べものが美味しい>など <当初の不安> <ul style="list-style-type: none"> 買い物、病院の利便性、集積度 子どもが学校になじめるか、冬の生活
3	F31 既婚 専業主婦 子ども2人	東京都 北斗市	【完全移住】 子育て ご主人Uターン	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ご主人の出身地(Uターン)である。 北海道新幹線も開業し、他都府県とのアクセスも良くなった。 ご主人が郷里で福祉・教育関連の仕事をしたと考えた。 <当初の不安> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通の利便性 子育てへの行政の支援
4	M73 既婚 自営 夫婦のみ	倶知安町 神奈川県	【完全移住】 リタイア ご主人Jターン	大沼公園	<ul style="list-style-type: none"> 転勤で函館に在住していた時に、北斗市に多くの知人・友人ができた。 スキー愛好者であり、当初は大沼公園の近くを検討した。 郷里の倶知安では、種々のしがらみから「自由度」が小さくなる。 <当初の不安> <ul style="list-style-type: none"> 過疎化の進行
5	M41 既婚 勤め 子ども2人	神奈川県 神奈川県	【完全移住】 落ちついた居住 北斗市に 転勤経験あり	赴任地として 可能性がある のは東京、埼玉、広島	<ul style="list-style-type: none"> 子育てがしやすい街。(お店での子供向けサービスがあるなど、街自体が子供に優しい。) イベント好きだが、当地はイベントが多い。 日常自体が「リフレッシュ」の毎日。自然景観、全国有数の観光地である函館の存在など。 北海道の中では雪が少ない。食べものが美味しい。 「北斗市に住んでいる」意識はなく、函館と北斗を一体で捉えている。 <当初の不安> <ul style="list-style-type: none"> 教育水準(※高校進学時には多分、東京に出すことになる)
6	M39 既婚 農業 子ども1人	東京都 北斗市	【完全移住】 健康にいい環境 奥さまUターン	特になし	<ul style="list-style-type: none"> 奥さまの実家が北斗市であった。 北斗市と函館市は一体のもの。 <当初の不安> <ul style="list-style-type: none"> 近隣とのコミュニケーション(習慣、風習の違いなど) 育児への考え方、過疎地であるため、生活利便性全般

2-7 (b)グループインタビュー ～北斗市開催

3) 北斗市のアピールポイント

～効果的な「子育て・福祉」への手厚い支援。
しかし、移住者支援の具体策を明確に打ち出す必要もある～

- 圧倒的に評価されるのは、北斗市の『子育て・福祉分野』の手厚い取り組みである。これに『少雪温暖』が次ぐ。
- 北斗市のアピールポイントは(子育て層、高齢リタイア層に効く)これらであると見てよい。
- しかし、前頁の<当初不安点>、例えば、職探しが難しい、公共交通機関の弱さ、買い物利便性(大型SCがない)、教育レベルなどは、払拭された懸念ではないことから、移住意向者への丁寧な情報提供が必要となる。
- また、下表の課題に挙げられている『移住促進によって、何をを目指すのか』、『地域を挙げて、どのような移住者支援策を用意しているのか』には明確に答えを出すことが肝要である。(※特に、後者については首都圏の移住意向者からも指摘を受けている。)

<提示した魅力ポイント>



交通・アクセス

- ①東京まで新幹線が約4時間で直通運行(市内に新幹線駅がある)
- ②函館空港まで車で約20km(30分)程度
(羽田、伊丹、中部、札幌、海外3路線)
- ③札幌まで高速道路で約4時間半、JR特急なら3時間20分

気候・地形

- ④雪が少なく、比較的温暖
(雪は最も積っても30cm程度=札幌の半分程度、年間平均気温10度前後)
- ⑤道内でも特に台風、地震、洪水などの自然災害が少ない
- ⑥津軽海峡に面した平野

産業・仕事機会

- ⑦農林漁業が盛んで地域では「新規就農・漁」などを積極的に進めている
(農業ではトマト、生産量北海道最多の長ネギが有名)
- ⑧市内には大手セメント工場、石油基地、ハイテク系の産業団地(160社が立地)などがある
- ⑨函館市(30万人)と合わせて35万都市圏なのでいろいろな仕事機会がある



子育て・福祉

- ⑩不妊治療費助成制度がある(1回あたり上限15万円、回数制限はあり)
- ⑪保育所(10か所)、幼稚園(4園)があり待機児童はゼロ
- ⑫70歳以上の「高齢受給者証」による医療費(原則1割負担)を、66歳、69歳にも適用
- ⑬学力向上に熱心(小中学生の学力テストは全国平均点以上)
- ⑭隣の函館市と合わせ大学、専専、公立立高校が整っている(函館ラ・サールは中高一貫校)
- ⑮子供の医療費無償制度(高校卒業時まで対象)

余暇・レジャー

- ⑯有名トラピスト修道院(男子)がある※女子修道院は函館市内のトラピスト修道院
- ⑰北に大沼・駒ヶ岳国定公園、南に津軽半島を望み、四季がはっきりした自然

住まい・移住支援

- ⑱住宅地の地価は坪当たり平均6.5万円、50坪だと約330万円程度(H28.1地価公示価格・市内7カ所の平均)
- ⑲市営・北海道営合わせて1200戸の公営住宅がある
- ⑳地域を挙げて「移住者を迎え入れる」取り組みを始めた

2-7 (b)グループインタビュー ～北斗市開催

3) 北斗市のアピールポイント

～効果的な「子育て・福祉」への手厚い支援。
しかし、移住者支援の具体策を明確に打ち出す必要もある～

No.	名前	出身地 本人 配偶者	移住パターン	他の移住 検討先	北斗市を選んだ理由 当初の不安ポイント
1	F44 既婚 有職 子ども3人	札幌市 神奈川県	【完全移住】 子育て重視 親が先に移住	特になし (相模原、 鎌倉、奥多摩)	<ul style="list-style-type: none"> ④「雪が少なく、比較的温暖」 ⑤「道内でも自然災害が少ない」 ⑥「津軽海峡に面した平野」 そのほか「魚介類など食の魅力」 <課題> <ul style="list-style-type: none"> 当初は光回線など高速通信網が整備されていない。SOHOのように在宅で仕事がしにくい。 子どもが高校に進学した時の「通学」(交通が不便、交通費負担が大きい)
2	F40 既婚パート 子ども1人	福島県 福井県	【完全移住】 子育て 住宅取得 タイミング	埼玉、神奈川、福島	<ul style="list-style-type: none"> 何といても⑮「手厚い子育て支援」の魅力(「学童保育の利用が1000円で可能」は道外者はみんな驚く) 新幹線開業で「北斗市の知名度」が上がっている今がチャンス。 <課題> <ul style="list-style-type: none"> 買い物利便性 (大型のショッピングモールが欲しい)
3	F31 既婚 専業主婦 子ども2人	東京都 北斗市	【完全移住】 子育て ご主人 Uターン	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ⑮「子供の医療費無償(高校まで)」 ⑪「待機児童ゼロ」(東京では深刻で300人待ちなどの状況だった) 「子供の喘息」が治まった <課題> <ul style="list-style-type: none"> 大きな出生祝い金があれば、これから「産もうか」という気になる 住宅資金支援は「移住」の促進策として効果的
4	M73 既婚 自営 夫婦のみ	倶知安町 神奈川県	【完全移住】 リタイア ご主人 Jターン	大沼公園	<ul style="list-style-type: none"> ⑫「高齢者医療支援」 「余暇・レジャー分野」では北斗市の良さは出せない(通り道) <課題> <ul style="list-style-type: none"> 北斗市は「移住者を獲得して何がしたいのか？」が曖昧
5	M41 既婚 勤め 子ども2人	神奈川県 神奈川県	【完全移住】 落ちついた 居住 北斗市に 転勤経験あり	赴任地として可能性 があるのは東京、 埼玉、 広島	<ul style="list-style-type: none"> ④「雪が少なく、比較的温暖」 全体として「子育て」への支援、街の子供への優しさ 函館市の隣だから北斗市が活きる。北斗市だけだったら単なる田舎町にしか映らない。弱い! 自分は「函館に住んでいる」という気持ち。 「観光地」だけでも喧噪の街になる。北斗市はちょうどいい。 ⑰「北に大沼・駒ヶ岳、南に津軽半島、四季が明瞭」 全体として「豊かな自然」。 <課題> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの進学(高校段階からの教育水準)。
6	M39 既婚 農業 子ども1人	東京都 北斗市	【完全移住】 健康にいい 環境 奥さま Uターン	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ④「雪が少なく、比較的温暖」 ⑨「函館市と併せて35万都市圏一仕事機会がある」 ⑰「北に大沼・駒ヶ岳、南に津軽半島、四季が明瞭」 全体として「豊かな自然」。 ⑪「待機児童ゼロ」→もっと充実していけばアピールできる 「余暇・レジャー分野」では北斗市の良さは出せない(通り道) <課題> <ul style="list-style-type: none"> ⑳「地域を挙げて移住者を迎え入れる」の中身、展望が見えていない。